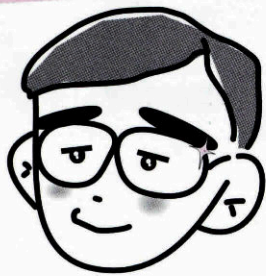


# ながと日記 ばーと5

長門市長 松林正俊



## 萩焼 パリに行く

スター）を会場としてのオープンングセレモニーは、日本からだけでなく、現地フランスの著名人もたくさん出席され、盛大にとりおこなわれました。

三ノ瀬深川焼を持つわが長門市も、萩市・山口市と共に実行

10月17日から、フランスのパリにおいて萩焼400年展が開かれております。パリ日本文化会館（館長は磯村尚徳元NHKニュースキャ

委員会のメンバーの一員として参加しました。

ご承知のように萩焼は「一楽二萩三唐津」と言われるように、わが国の伝統工芸の一つです。陶器のもつ温もりと独特の色合いで、茶人のみならず多くの人に愛されております。

果たして、この「わび、さび」の世界がフランス人に理解できるのだろうかと心配しておりましたが、そこはさすが芸術の都「パリ」不思議なことに解るようです。茶碗の前で足を止め、

長時間じつと眺めているフランス人の多いのには驚きました。

シラク大統領はじめフランス人は日本びいきであると聞いておりましたが、予想以上でした。

同行された萩焼作家の先生方も感激された様子で、私も嬉しくたまりました。

芸術の秋に、萩焼の名品たちが、どれだけ多くのパリ人の目に触れるのか、それを考えただけでも興奮を覚える今日この頃です。



## 市長と專業農家との意見交換会 「仙崎・深川地区」と「俵山地区」

農業の各分野でのプロの経営者として活躍をされている皆様と「農業の振興策について話し合える機会を」との思いから、市長と專業農家の意見交換会が開催されました。10月25日は、物産センターで仙崎・深川地区專業農家11人と、27日は、俵山公民館で俵山地区專業農家7人と意見を交換しました。



## リサイクルセンター建設工事 安全祈願祭

10月26日、大峠の長門地区広域清掃工場の隣に建設予定のリサイクルセンター建設工事の安全祈願祭が行われました。来年3月完成予定で、資源ゴミとして活用できるスチール缶、アルミ缶、ガラスビン、ペットボトルなどを再利用するもので、完成すればゴミの減量化、資源化が期待されます。

